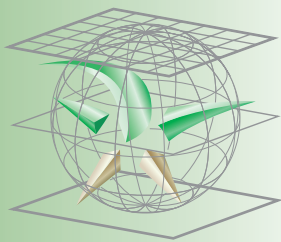


PLANT
APPLICATION!



WEEDSLESS
MAT

雑草としての欠点を取り除き、草本植物として
生育させる事を目的に、開発された製品です。

草本植物を生育させ、飛来種や雑草を抑制する

ウィーズレスマット®

草本植物を生かし、人にも優しい!



ウィーズレスマット®とは・・・

地球上において、植物は生態系の中で生産者という重要な役割を果たしています。特に、光合成を行うことにより二酸化炭素 (CO₂) を吸収し、生物に必要不可欠な酸素 (O₂) を放出しています。また、植物は自身の安定及び水や養分を吸収するために、土中に根を張り巡らせ、その結果地盤補強の役目も果たしています。ただ、草本植物の中には雑草と呼ばれるものもあり、防除の対象となっていますが、防除するのではなく、雑草がもたらす弊害を取り除くことができれば、植物の持つ能力を生かすことができます。

そこで、ウィーズレスマット®は雑草を雑草と呼ばれない植物として生育させ、地球環境に貢献できることを目的とした製品です。



雑草って何?

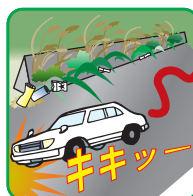


栽培植物にとって有害無益な植物であり、人が必要としている植物以外の草本植物あるいは望まれないところに生える植物のことを雑草と呼んでいます。



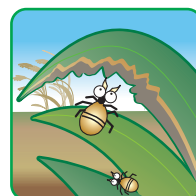
雑草の問題点

景観悪化・交通障害



例えばヨモギやセイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサ、ススキ、チガヤのように草丈の高い雑草が群生することにより、景観悪化や視界不良を招きます。またゴミが捨てられるという問題も引き起こします。

病虫害の温床



雑草が繁茂している場所では、人が手を加えないことから、害虫や植物病原菌が繁殖しやすくなり、周辺に悪影響を及ぼす恐れがあります。

火災の発生源



乾燥した枯れた植物を放置していると燃えやすく、火災の原因となる危険性があります。周辺への延焼も危惧されます。

花粉症を引き起こす



木本類 (スギやヒノキ) だけではなく、ブタクサやヨモギといった草本植物の花粉がアレルゲン (抗原) となり花粉症を引き起こすと言われています。